

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名	介護過程の基本		教員氏名	齋藤香織	
科目ナンバー	Ⅱ-4・5-6				
学年	専攻科		開講学期	通年	
授業形態	演習		単位数	2単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	11年
テーマ	介護実践の実際に触れながら、介護福祉士が介護過程を展開するにあたっての基礎的な知識・技能を身に付ける				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	本講義は講義だけでなく、学生に対してグループディスカッションや発表する機会を設けながら介護過程の展開方法を基礎から学び、理解を深めることができるようにする。また、教員自身の介護現場での経験を交えながらより実践に近い授業を行い、学生自身が介護過程の展開方法の重要性を把握し、認識できるようにする。介護実践の基本、生活支援技術、こころとからだのしくみ、コミュニケーション技術、などを学ぶ中で、それらがどのように「介護過程」の展開につながっているのかを学び、最終的には、学生自身が自らの介護観に基づいた介護過程を展開できるようにする。				
授業の到達目標	1.介護過程の意義と基礎的な理解・「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の4つのプロセスについて、その内容及びポイントを列挙できる				
	2.「介護過程」とは利用者のニーズを的確に把握し計画的に介護を実践・評価することの連続であることを説明できる				
	3.介護サービス計画と個別介護計画の関係性、チームとして介護過程を展開していくことの重要性を説明することができる				
テキスト	「9介護過程」 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版				
参考書	介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2026下巻 中央法規出版				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループワーク含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他: なし				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	0	定期試験は実施しない		
	授業内課題・発表等	100	ワークシート提出100%(情報収集・アセスメント・生活課題50% 介護計画・再計画35% 実習後演習15%)		
	参加度・学習態度等				
その他					
再試験	行う	行なわない場合の理由			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション 介護過程とは 意義・目的	
	授業外学習	〈復習〉テキスト P2～9 を読んでおくこと	55分
第2回	テーマ 内容	ケアマネジメントと介護過程の違い ICFの視点・ストレングスの活かし方 介護過程の一連のサイクル	
	授業外学習	〈復習〉テキスト P9～22 を読んでおくこと	55分
第3回	テーマ 内容	情報収集の方法 事例①(DVD)から情報を得る 観察のポイント、ニーズの捉え方(個人作業)	
	授業外学習	〈課題〉情報収集用紙を埋め、完成させておくこと 第4回にて提出	55分
第4回	テーマ 内容	情報収集の方法 事例①人と自身の観察視点の違いを知る(GW)必要な追加情報とその収集方法	
	授業外学習	〈課題〉個人作業とグループ作業の視点の違いについて考える	55分
第5回	テーマ 内容	アセスメント方法 本人の思いの捉え方 事例①センター方式 個人作業①	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート センター方式 第6回にて提出	55分
第6回	テーマ 内容	アセスメント方法 解釈・関連付け・統合化とは 事例①個人作業②	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート 情報を解釈する 第7回にて提出	55分
第7回	テーマ 内容	アセスメント方法 解釈・関連付け・統合化とは 事例①個人作業③	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート アセスメント・予測を立てる 第8回にて提出	55分
第8回	テーマ 内容	アセスメント方法 生活課題の抽出 事例①個人作業④	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート 生活課題を考える 第9回にて提出	55分
第9回	テーマ 内容	アセスメントグループワーク 事例①生活課題の発表	
	授業外学習	〈復習〉教科書 P55～61 を読んでおく	55分

第10回	テーマ 内容	介護計画の立案 長期目標・短期目標・具体的援助内容	
	授業外学習	〈復習〉教科書 P65～71 を読んでおく	55分
第11回	テーマ 内容	介護計画の立案 長期目標と短期目標 事例①個人作業①	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート 介護計画 未記入分の作成	55分
第12回	テーマ 内容	介護計画の立案 具体的援助内容 事例①個人作業②	
	授業外学習	〈課題〉教科書 P71～74 を読んでおく	55分
第13回	テーマ 内容	介護計画の立案 具体的援助内容 事例①個人作業③	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート 介護計画 第13回にて提出	55分
第14回	テーマ 内容	介護過程におけるチームアプローチを理解する 他職種の専門性理解	
	授業外学習	〈課題〉チームアプローチのワークシートの作成 第15回にて提出	55分
第15回	テーマ 内容	介護過程におけるICF(国際生活機能分類)の活用 事例①記入 カンファレンス説明	
	授業外学習	〈課題〉ワークシート ICF概念図の作成 第16回にて提出	55分
第16回	テーマ 内容	模擬カンファレンス① 各自の介護計画を発表し、各専門職の視点にて検討	
	授業外学習	〈課題〉カンファレンスで検討した内容を「再計画」として、修正 第19回にて提出	55分
第17回	テーマ 内容	模擬カンファレンス②	
	授業外学習	〈課題〉カンファレンスで検討した内容を「再計画」として、修正 第19回にて提出	55分
第18回	テーマ 内容	模擬カンファレンス③	
	授業外学習	〈課題〉カンファレンスで検討した内容を「再計画」として、修正 第19回にて最終提出	55分

第19回	テーマ 内容	介護計画の立案実施・評価の方法について 実習介護過程に向けて	
	授業外学習	〈復習〉テキスト P76～86 を読んでおくこと	55分
第20回	テーマ 内容	ケアマネジメントとの関係性、ケアプランと個別援助計画の連動について * 国家試験対策①	
	授業外学習	〈復習〉テキスト P144～154 を読んでおくこと	55分
第21回	テーマ 内容	実習対象者の情報をICFの視点で分析する 情報を主観と客観で分ける	
	授業外学習	〈課題〉ICF概念図の作成 主観客観ワークシート 第22回にて提出	55分
第22回	テーマ 内容	GW 事例②共通情報の理解(観察視点、不明点、疑問など検討)	
	授業外学習	〈課題〉事例② 人物理解及び解釈をしておく	55分
第23回	テーマ 内容	GW 事例②追加情報開示 生活課題の抽出(最低1つ)	
	授業外学習	〈課題〉事例② アセスメントを進めておく	55分
第24回	テーマ 内容	GW 事例②1つの生活課題の介護計画立案 * 国家試験対策②	
	授業外学習	〈課題〉事例② 介護計画を完成させておくこと 第25回提出	55分
第25回	テーマ 内容	GW 事例②介護計画発表① ・ 国家試験対策ポイントの復習	
	授業外学習	〈課題〉グループごとに発表の準備を事前にしておくこと	55分
第26回	テーマ 内容	GW 事例②介護計画発表② ・ 国家試験対策ポイントの復習	
	授業外学習	〈課題〉国家試験にむけて、授業プリントの振り返り	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は、次回授業時、口頭やプリントにてフィードバックを行う。課題提出は授業内の演習における成果物となるため、未提出は減点評価ではなく、提出しなければ単位取得を認めないものとしている。